

いろいろな障害があります



知的障害のある人の中には、文字の読み書きや計算が苦手な人、何に困っているのか伝えることが苦手で不安になる人がいます。そんなときは「わかりやすく具体的に話しかける」「急がせずやさしく見守る」などのサポートをお願いします。

発達障害のある人の中には、集中することや、じっとしていることが苦手な人、特定の教科が苦手な人がいます。また、思っていることを伝えたり、急な変更や変化に対応したりすることが難しい人もいます。それぞれに合ったやり方でのサポートが大切です。



精神障害とは、何らかの原因により、精神や身体、行動などに変化が現れる脳の病気です。幻覚や妄想などといった症状が現れる「統合失調症」、気分が落ち込み、何かしたいと思ってもできなくなる「うつ病」など、種類や症状は色々あります。それぞれの病気に対する理解が大切です。

奈良県おもいやり駐車場制度



車いすの人や高齢者など移動に配慮が必要な人の駐車場を県が整備し、利用証を渡して駐車場を使ってもらう制度です。

コラム

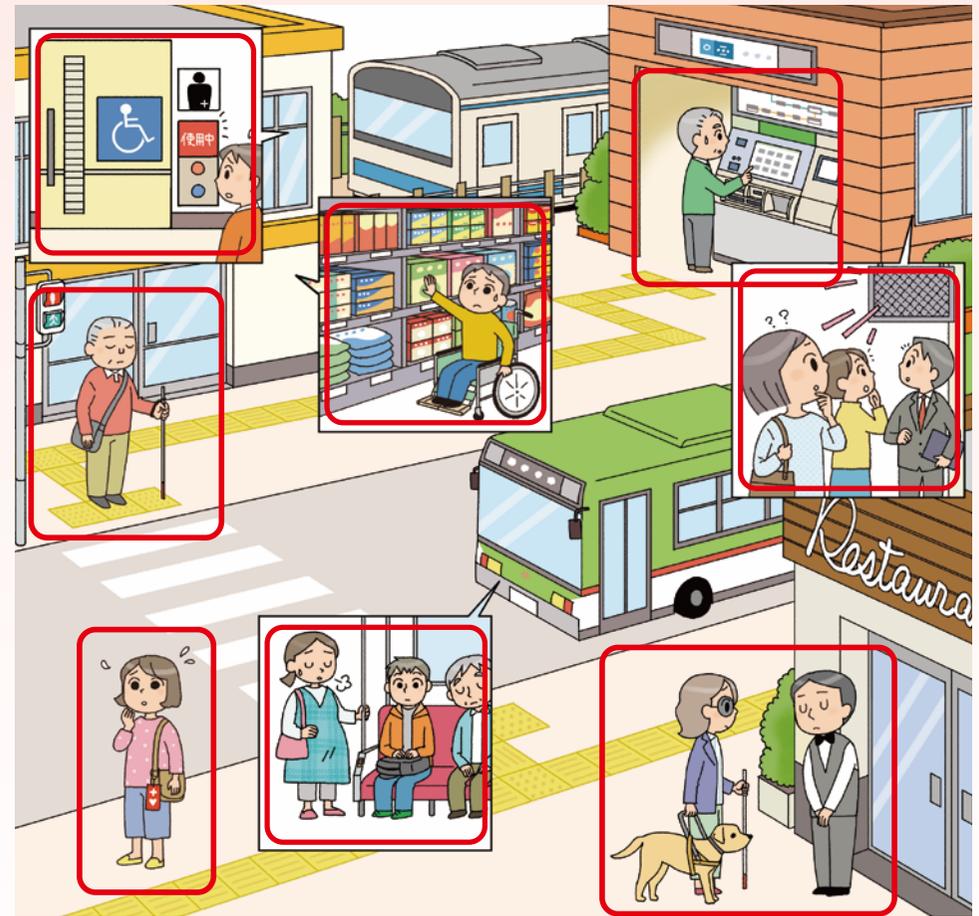
新型コロナウイルス感染症によって、今までと違った不自由さに直面している人がいます。

- 目の不自由な人が、まわりの人との距離感をつかめず近づいてしまう。
- 耳の不自由な人が、マスクで相手の表情や口の動きが見えずコミュニケーションが難しい。
- 知的障害や発達障害のある人が、状況の変化の理解が難しく、マスクをつけるのが苦手。

などの場合があります。このような人がいることを理解し、状況に応じたサポートをお願いします。

心のバリアフリー

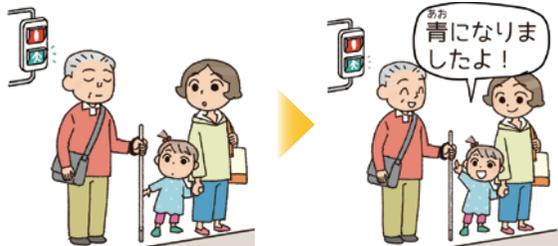
ハンドブック



まちの中にある不便なこと（バリア）は、お互いが助け合うことによってなくすことができます。それが心のバリアフリーです。上の絵を見て、誰がどんなことで困っているかわかりますか？どうすればよいのか、中面を見てみましょう。

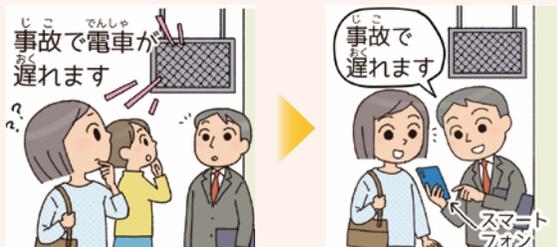
困っている人に気づいたら...

1 目の不自由な人へは...



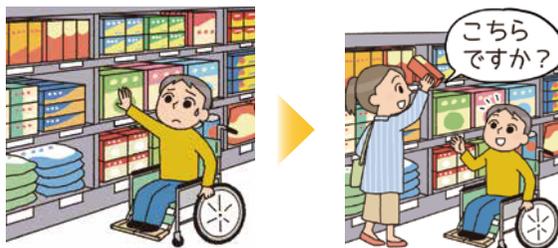
- 信号の色の変化に気づかない様子であれば「赤(青)ですよ」と声をかけて知らせましょう。
- 点字ブロックの上に物や自転車を置かないようにしましょう。

2 耳の不自由な人へは...



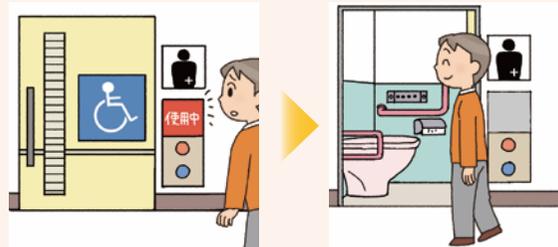
- 緊急の放送が聞こえず困っている様子であれば、文字で状況を知らせましょう。
- 連絡先に電話番号だけではなく、FAX番号やメールアドレスを書きましょう。

3 車いすの人へは...



- 高いところの物を代わりに取って渡しましょう。
- 階段の上り下りや、電車やバスの乗り降りを手伝いましょう。
- 障害者専用駐車スペースへの一般車両の駐車はやめましょう。

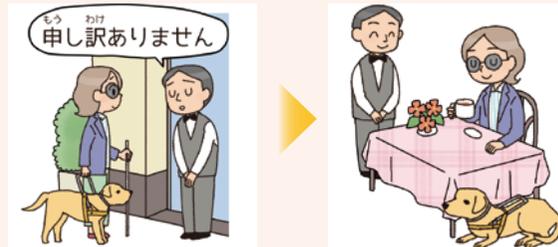
4 多機能トイレが必要な人へは...



- 施設などの多機能トイレは、オストメイト(人工ぼうこう、人工肛門をつけた人)や車いすの人など、必要としている人が優先的に使えるようにしましょう。

 オストメイトマーク：人工ぼうこう、人工肛門をつけた人のマークで、オストメイト対応の多機能トイレなどに表示されています。

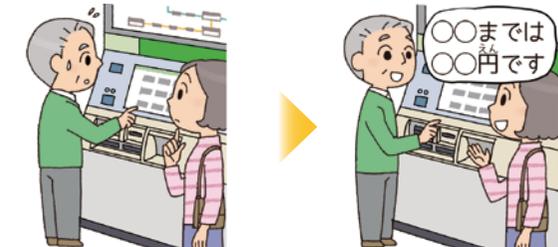
5 補助犬を連れた人へは...



補助犬：目の不自由な人をサポートする盲導犬、耳の不自由な人をサポートする聴導犬、手足の不自由な人をサポートする介助犬のこと。

- 「犬だから」という理由で補助犬がお店などへ入るのを断らないようにしましょう。
- 補助犬の仕事中に勝手に触ったり、声をかけたりすることはやめましょう。

6 高齢の人へは...



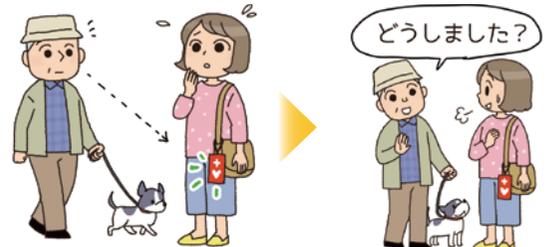
- 困っている様子であれば声をかけましょう。
- はっきりした声でいいねいに説明しましょう。

7 赤ちゃん連れ、妊娠中の人へは...



- 電車やバスでは席をゆずりましょう。
- ベビーカーをおしている人の階段の上り下り、電車やバスの乗り降りを手伝いましょう。

8 ヘルプマークをつけた人へは...



- 外見ではわかりにくくても、手助けが必要なときがあることを理解しましょう。
- 困っている様子であれば声をかけましょう。

 ヘルプマーク：内部障害や難病など外見ではわかりにくい障害のある人や妊娠している人などが、周囲の人に、手助けを必要とするときがあることを示すマークです。